



お陰様で立川市民オペラ公演 2012 歌劇『トゥーランドット』が無事終了しました。



皆様とともに作り上げてきた本公演「トゥーランドット」は大成功で終わることができました。3月10日・11日の二日間で2,299名のお客様にご鑑賞いただきました。サポーター会員の皆様にはチケット販売をはじめ、ポスターや、チラシの設置、公演終了後の打ち上げへの参加など、様々の形でご協力いただき感謝申し上げます。



お気づきでしたか？立川駅周辺の商店街に公演迄の1ヵ月半、200枚のフラッグが取り付けられました。



3月11日(日)のチケットにつきましては早々に「完売」となり、お買い求めを予定されていた皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。

市民オペラ児童合唱団に参加させて頂いて・・・親は歌にコンプレックスがあるものの、まだ子どもは音痴かどうかなんて気にすることなく歌っているから、そういう自由な気持ちで歌えるうちに、少しでも、歌を習う機会が持てたら、という安易な動機で、広報の記事を見て応募したのですが、イタリア語の歌詞？親も覚えてください？しかも、公演まで日が迫る中、あっという間に舞台稽古になり、もう楽譜も持たせられない状態。練習へ行けば楽しそうにしているけれど、家では全く練習しない！大人の皆さんが真剣に取り組んでいる練習風景を見れば見るほど、親ばかり焦りながら本公演を迎えましたが、子どもは本当に不思議なもので、何とか本番前には、気持ちも引き締まって舞台に立てたようで親も一

〔一児童父兄より〕

緒に充実感を味わわせて頂きました。親は初めて観たオペラ、子どもは観た事もないオペラの舞台に、いきなり出演、という大変に貴重な経験をさせていただけたことに、心から感謝しています。一部しか観ていなかった練習の成果を本公演を通して観させて頂き、知っているはずのストーリーなのに、とても感動しました。ありがとうございました。

出演した15名の子供達



サポーターより

- ☆ 打ち上げに参加させて頂き、ソリストの方達と話が出来、夢の様な時間を過ごす事が出来ました。
- ☆ 公演を観ての帰り道、友人達と「次回はSS席ネ」と月に一度の500円貯金を決めました。



連載「知っている面白くなる」

～オーケストラピット～

さて大成功の内に幕となりましたが、終始関わりながらも公演を見ていない人達があります。そう、オーケストラピットに入った管弦楽団です。オーケストラピットとは、上演の妨げにならぬよう奏者が入る舞台前方の窪みです。しかしそこは狭い、暗い、舞台が見えない、の三重苦の世界なのです。まず狭い。特殊楽器も多く出入りも一苦労、演奏に支障が出ないよう周囲の奏者や椅子、壁、庇等<sup>ひさし</sup>にぶつからないか注意を払い続けます。加えて暗い。譜面灯の灯りから外れると楽譜が読めません。そして舞台状況がわからない。歌声は聞こえますが聞いてから演奏するのでは遅すぎます。さらに様々な要因で毎回歌い方や演技の間が変わります。頼れるのは指揮者だけ。また舞台裏で演奏するバンダと呼ばれる奏者もあり、こちらは副指揮者が頼りです。次の機会には華やかな舞台の足元も、ちょっと気にしてみてください。



ゲネプロ(総稽古) 前のオーケストラピット